

羅 針 盤			方 策	点検・評価			達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 生徒のニーズに合った教育課程を実践していますか。	①コース別の特色ある学習活動に満足している生徒が80%以上である。	各コースの特徴を生かした教育課程の編成に努める。また専門教科・科目の授業内容を検討工夫して魅力あるものにする。	A	A	A	各コースの特徴が見られる教育課程の編成になっている。特徴だけではなく今後も生徒に何が必要であり、身につけさせたい能力・資質のためには、どのような教育課程が必要になるのかを考えて、教育課程の編成を考えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と作る「門松作り」は大変意義がある取組だと思います。 ・アットホームな感じがとても良く、少人数の学校の良さを十分生かし、生徒の実態にあった万場高校らしい取組を行っていると思います。 ・地元からの進学が減っていますが、地元と連携した更なる取組を希望します。 ・地域貢献・活性化に向けた特色ある水産コースの活躍は素晴らしいと思います。
	2 中高一貫教育に積極的に取り組んでいますか。	②交流授業や授業公開を行った教科が全体の80%以上である。	中高双方向での交流授業や出前授業を各教科で計画し、積極的に実施する。	A	-	A	交流授業や授業公開を行った教科は全体の100%であり、積極的に中高一貫教育を実施することができた。次年度以降も継続的な実施をするために、より効率的で教員の負担も減らせるよう、ICT機器使用やオンラインでの連携事業を増やしていきたい。	
	3 生徒の実態に合った学校運営を実践していますか。	③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	生徒の実態に即しての授業展開や学校行事等の実施を、工夫しながら行う。	生徒の実態に即しての授業展開や学校行事等の実施を、工夫しながら行う。	B	B	B	
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①授業に対する生徒の評価アンケートを年間2回実施し、授業改善に生かす。	7月と12月に授業アンケートを実施し、その結果を教科で共有し、改善を図る。	B	-	B	7月の第1回授業アンケートを活かし、二学期以降の授業の改善に取り組んでいる。12月の第2回授業アンケートで全体の満足度が上がった。生徒の実態に合わせて、基礎学力を身につけ、学びが楽しいと思える授業を目指したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数、個別対応の授業はとてもありがたい。一方で、自立心や競争心とのバランスが難しいところだと思います。 ・生徒達が真面目に授業に取り組んでいるのが良い。 ・多様な生徒に合った活動は難しいと思いますが、引き続き指導をよろしく願います。
	5 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	②授業で生徒同士が関わり合い積極的に学習に取り組んでいると評価している生徒が80%以上である。 ③基本的な学力が付いてきたと実感する生徒が80%以上である。	生徒個々の特性と目標を把握した上で授業や補習を行うと共に、協働学習を取り入れた学びの機会を設け、基礎的基本的な学力の確実な定着と向上を図る。	A	A	A	グループ学習、学び合う・教え合うなど生徒同士が関わりを持てる授業に教員が取り組んでいる。また、ICT技術を使うことで関わりを作るように各教員が得意な部分を利用して行った。学び直しを取り入れ、基礎的基本的な学力の定着を図ってきたい。	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①生徒会活動(学校行事、委員会、部活動)が充実していると思う生徒が、80%以上である。 ②何かあったとき、友人や先輩、家族、先生等、誰か相談できる人がいるという生徒が80%以上である。 ③いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	係を中心に全職員が連携し適切な指導を行う。生徒会本部役員を中心に主体的に活動させる。 担任による面談の他、必要に応じて教育相談係と連携し養護教諭やSC等との面談を設ける。また、アンケート調査を行う。 学校いじめ防止基本方針を周知し、未然防止と事後対応に努める。また、アンケート調査や面談等を定期的に行う。	B	A	B	アンケート結果では、生徒会活動(学校行事、委員会、部活動)に積極的に取り組んでいる生徒が、86.2%であった。一方で、学校を好きと解答した生徒が69%、部活動加入率は全体で18.7%であったため、係を中心に一層の充実を図りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が充実した学校生活を送っていると感じます。 ・授業アンケートの結果からも、学生の充実している学校生活が伺えます。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	④挨拶をしたり、本校で定めた服装・頭髪規定を守ったりしている生徒が80%以上である。	全教員が授業開始、終了時や休み時間での挨拶指導を行う。一斉服装頭髪指導を定期的に行うとともに、平時の服装指導を粘り強く行う。	B	A	B	アンケート結果では、79.4%であった。次年度については、学校での相談に加えて、県などの公的機関への相談に関する情報提供や声掛けも積極的に行いたい。	
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑤いじめ防止のための活動及び、いじめ早期発見のための取組が行われていると感じている生徒が80%以上である。	いじめ撲滅運動を始め、いじめ防止フォーラムなどの活動報告を、生徒会を主体として実施し、いじめ防止を呼びかける。	B	B	B	いじめの解消の目安である3ヶ月に満たないため、経過観察を続けている案件が複数ある。次年度については、一層の未然防止、早期発見・早期対応を心掛けたい。	
	9 計画的な指導を行っていますか。	⑥3年間を見通した進路計画に基づき、計画的に進路ガイダンスを各学年ごとに実施している。 ⑦企業・学校見学やインターンシップ、実習等を有意義だと思う生徒が80%以上である。	年度当初に進路関係の行事を説明し、3年間を見通して段階的に進路目標を達成できるよう誘導する。 体験学習からキャリア教育の意義を理解させ、企業や大学・専門学校の協力を得て充実した学習内容とする。	B	-	A	アンケート結果では、73.7%であった。次年度は生徒会を主体として、いじめは絶対に許されない行為であるということをもっとストレートに発信していきたい。	
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑧自らの適性、興味関心、能力等を理解している生徒が80%以上である。 ⑨進路希望を実現する生徒が80%以上である。	適性検査や基礎学力テスト等の実施及び事後指導を通じて、生徒自ら適性、興味関心、能力等を理解するよう促す。 体系的な進路指導を前提として、生徒の適性と将来を見据えた指導を組織的に展開する。	B	B	B	各学年ごとに年2回は(3年は、校外実施を含む)実施できている。課題として、在籍人数が少ないため、なかなか生徒が希望する分野の学校に来てもらえないことが挙げられる。次年度については、1・2学年合同での実施なども検討し、生徒の希望に合った学校に少しでも来てもらえるよう調整していきたい。	
	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑩学校の教育活動を理解してもらうために、「学校公開」を年2回以上実施している。 ⑪学校のホームページや学校発行の通信、公開授業などの学校公開が有益と感じる保護者が80%以上である。	PTA総会や学年保護者会開催日などに公開授業を行う。 学年通信を家庭向けに年10回以上発行する。また学校ホームページ及び携帯サイトのコンテンツを充実させる。	A	-	A	1・2学年において実施した。実際に見学したり、体験することで刺激を受けていると感じた。また、企業見学を実施したことで就職につながることも、良い結果だったと感じた。次年度以降も実施するとともに、生徒が仕事について知る機会を増やせるよう検討していきたい。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑫ICTを活用した学習活動に満足している生徒が80%以上である。 ⑬生徒は学習用端末を1日2回以上利用している。	各教科・科目の授業内容を検討した上で、効果的にICTを活用し、基本的な学力の定着と向上を図る。 学習活動に学習用端末を積極的に利用する。	A	A	A	各学年において各種適性検査や基礎学力テストなどを実施している。現状では、実施してそのままになってしまうことも多いので、学年と連携し、結果のフィードバックをして生徒がより自身の適性等について理解できるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から全員参加とした「進路発表会」は大変良い取組と感じました。 ・生徒一人一人にあった取組が実施されていると感じています。
	13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑭ICT(情報端末)を活用した通知に満足している生徒・保護者が80%以上である。 ⑮ペーパーレスの職員会議を年3回以上実施している。	学校からの通知等をICT(情報端末)を活用し配信する。 ICTを活用し、ペーパーレスの職員会議を実施する。	A	A	A	各学年から学年通信が発行されている。また、学校のHPも例年よりも更新の頻度は昨年よりも多い。HPだけではなく、InstagramやYouTubeでも情報を発信している。	
	14 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑯ICT(情報端末)を活用した通知に満足している生徒・保護者が80%以上である。	学校からの通知で保護者メールでのお知らせやクロームブックでのアンケート回収などいろいろなおことにICT利用をしている。さらなる活用拡大に向けていきたい。	A	A	A	生徒自身が調べるだけでなく、まとめて提出することにも利用している。また、プロジェクトで図形を黒板に映し、その上から補助線を引くなどという利用方法もあった。各教科での効率的な使い方を考えることで学力の定着と向上を図っている。	
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	15 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ICT(情報端末)を活用した通知に満足している生徒・保護者が80%以上である。	学校からの通知で保護者メールでのお知らせやクロームブックでのアンケート回収などいろいろなおことにICT利用をしている。さらなる活用拡大に向けていきたい。	A	A	A	調べ学習や情報収集など学習用端末で行っている。教科書にはない映像や自分の動きを録画して確認するなど、様々な利用の仕方が広がっている。授業の終わりごとに「振り返り」を入力させるなど、さらに学習用端末を活かす授業を増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・若い先生が多いので、更なる資質・能力の向上を目指してほしい。
	16 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑱ICT(情報端末)を活用した通知に満足している生徒・保護者が80%以上である。	今年度の職員会議は、第1回を除いてペーパーレスで実施している。来年度もこのように取り組むたい。	A	-	A	今年度の職員会議は、第1回を除いてペーパーレスで実施している。来年度もこのように取り組むたい。	